

授業科目名	クリティカルケア実習			担当教員	苑田 裕樹、小川 紀子																						
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	90 (2)																						
必修選択	必修	授業形態	実習	使用教室																							
授業の目的	救急およびクリティカル状況下で集中治療・看護を受ける患者および家族の危機状態に対する看護を提供できる能力を獲得する。																										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急およびクリティカルな状況下にある患者や家族への看護に必要な態度を身につけることができる。 2. 患者やその家族の身体・心理・社会的危機状況についてアセスメントすることができる。 3. 患者の生命を守るために行われている治療・検査を理解し、必要な看護を実施できる。 4. 救急およびクリティカルな状況下での看護における看護師の役割と専門性について述べるができる。 																										
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、レベルIV実習として位置づけられた実習科目であり、レベルIIIまでに身につけた知識と技術を前提とし、さらにこれまでに履修したクリティカルケアⅠとクリティカルケアⅡの学習内容を応用して問題解決力を育む。また、複数名で1人の患者を受け持ち、多職種と連携した看護実践を通してチームで働く力を養う。講義・演習を通じて自らの課題を客観的な視点から見出し、目標達成するための継続的な取り組みを行えるよう位置付けている。																										
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力																						
	○	○	○	◎	○																						
授業計画																											
回	授業内容		授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者																					
	<p>【方法】 1) 実習期間：2週間 2) 実習スケジュール：</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">1 週目</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">学内</td> <td>学内オリエンテーション／学内演習</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">病院</td> <td rowspan="4">病院実習 (ICU/ER 見学)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">2 週目</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">病院</td> <td rowspan="4">※ ER 見学は実習期間中に1日実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">金</td> <td style="text-align: center;">学内</td> <td>学びの共有 / 記録整理、面接など</td> </tr> </table> <p>3) 実習場所： 福岡赤十字病院、飯塚病院 小倉記念病院、JCHO 九州病院 のICU、HCU、CCU、SCU、救命救急センター等</p> <p>4) 実習方法： 学生はペアでクリティカルな状況にある患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を実践する。 ER では見学実習を行う。</p>		1 週目	月	学内	学内オリエンテーション／学内演習	火	病院	病院実習 (ICU/ER 見学)	水	木	金	2 週目	月	病院	※ ER 見学は実習期間中に1日実施	火	水	木		金	学内	学びの共有 / 記録整理、面接など		<p>< 事前課題 > ・ 夏季課題を提示 (7月配布) ・ クリティカルケアⅠ、クリティカルケアⅡの内容についての復習 ・ 実習要項をよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。また、実習の心構えをよく読み、自己の課題を明確にしておく。</p>	1週間 1週間 3時間	苑田 小川
1 週目	月	学内		学内オリエンテーション／学内演習																							
	火	病院		病院実習 (ICU/ER 見学)																							
	水																										
	木																										
金																											
2 週目	月	病院	※ ER 見学は実習期間中に1日実施																								
	火																										
	水																										
	木																										
	金	学内	学びの共有 / 記録整理、面接など																								

先行履修科目	3年前期に開講する全ての必修科目
テキスト	クリティカルケア I、クリティカルケア II で使用した以下のテキスト 1) 道又元裕 他著：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学. 医学書院, 2016. 2) 山勢博彰・山勢善江 他著：系統看護学講座 別巻 救急看護学. 医学書院, 2016.
参考文献	寺町優子・井上智子・深谷智恵子 編集：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用. 日本看護協会出版会, 2007. その他：講義資料 実習中、適宜提示する。また学生自身で実習に関連する文献を収集し、活用する。
評価方法	実習評価表に基づき評価する。 実習目標達成度：実習態度 25%、記録物・看護の実践 75% なお、遅刻・早退：1点、欠席：2点の原点となる。
教員等の実務経験	クリティカルケア領域（ICU/ 救急領域等）に従事する高い専門性をもつ臨床実習指導者と、クリティカルケア看護の臨床経験のあるおよび教員が、その経験を活かして、クリティカルケア看護について実習指導を行います。
メッセージ	クリティカルケア実習では、クリティカルな状況下で集中治療・看護を受ける患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を展開します。既習の知識や理論を用いて患者を全人的に捉え、顕在および潜在する問題に対して予測的な視点と科学的根拠に基づいて実践・評価していきます。また、クリティカルケア実習では、「受け持ち看護師」として責任を持った行動を求めます。患者に対して必要となる看護は何かを臨地実習指導者や日々の担当看護師、実習担当教員を含めた看護チームで意見交換を行いながら最善の看護を検討し実践してください。そのため、学生は複数名で1人の患者を受け持ち、常に学生同士のチーム間で意見交換をしつつ、看護チームの一員という自覚を持って実習に取り組むことを期待します。自己教育力を育成・向上するために、自己分析する能力を育み、常に自己の課題を明確にしながら、目標達成のために継続的な取り組みを期待します。